



# NEWS RELEASE

NAMBA ORIENTAL HOTEL

2014.02.14 FRI  
No. 0036

なんばオリエンタルホテル  
〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-8-17  
マーケティング課 TEL:06-6647-8111  
<http://www.nambaorientalhotel.co.jp>

コンセプトルーム「まどい」と大阪の伝統ある縁起物「ぜんざい」を法善寺「夫婦善哉」でいただく宿泊プラン

## 法善寺『夫婦善哉』&『まどい』コラボレーションプラン販売開始

なんばオリエンタルホテル(所在地:大阪市中央区千日前2-8-17、総支配人:藤井育郎)では、2014年2月22日(土)より【コラボレーションプラン】法善寺『夫婦善哉』&『まどい』宿泊プランをご提供、2月19日(水)より販売開始します。創業明治16年の「夫婦善哉」は、大阪生まれの作家・織田作之助の小説で一躍大ブームとなり、現在も大阪名物として国内外からたくさんの方が訪れています。法善寺横丁でぜんざいを味わい、なんばのまちを楽しんだ後、和のぬくもりと大阪の温かみをコンセプトとした客室「五感 plus ~まどい~」でおくつろぎ頂ける宿泊プランをご用意しました。浪速の甘味「夫婦善哉」と、「五感 plus ~まどい~」で過ごす大阪体感をお楽しみください。

**「おおきに。めおとでんね」**

百十年以上前 法善寺境内に、ちょっと変わった善哉屋が開店します

文楽の太夫、武本琴太夫こと「木文字重兵衛」という人がはじめた「お福」というお店

何が変わっていたかというと、一人前なのに二杯のお椀に分けて善哉が出てきたからです

「へえー、こら変わっとる。なんで二つや」

聞かれると、実際にお店を切り盛りしていた重兵衛の妻「こと」と娘「かめ」は、ニッコリ笑って、「おおきに。めおとでんね」と答えたといいます

二つのお椀に分けたほうがたくさん入っているように見ると考えたからなのですが、これが大当たり

その後の「夫婦善哉」へと繋がっていったのです

▲左「五感plus~まどい~」(上)法善寺「夫婦善哉」(下)のロゴ ▲右大阪らしさが伺える「夫婦善哉」の云われ ※夫婦善哉HPから抜粋

### 【コラボレーションプラン】法善寺「夫婦善哉」&「まどい」宿泊プラン

宿泊日:2014年2月22日(土)～ 販売開始日:2014年2月19日(水)～ ※ご予約受付は3日前迄



▶ コンセプトルーム「五感 plus ~まどい~」

#### ■ 料 金(税サ込):

1室3名様利用(44平米) 1室 40,500 円～  
1室4名様利用(44平米) 1室 46,000 円～

#### ■ 特 典:



- ①法善寺「夫婦善哉」ぜんざい
- ②法善寺「夫婦善哉」オリジナルグッズ2点  
(携帯ストラップと提灯)
- ③大阪の泉州タオル「匠」
- ④ご朝食「和ぎの朝ごはん」  
旬料理「和ぎ」(当館2階)にて

▶ 「夫婦善哉」オリジナルグッズ2点

本リリースに関する  
お問い合わせ先

なんばオリエンタルホテル TEL:06-6647-8111 FAX:06-6632-9979  
担当者: マーケティング課 森・川口 E-mail:s.mori@nambaorientalhotel.co.jp  
ニュースリリース URL: <http://www.nambaorientalhotel.co.jp/nr/nr.html>

※画像のデータをお送り致します。上記電話番号または、メールアドレスまでご連絡ください。